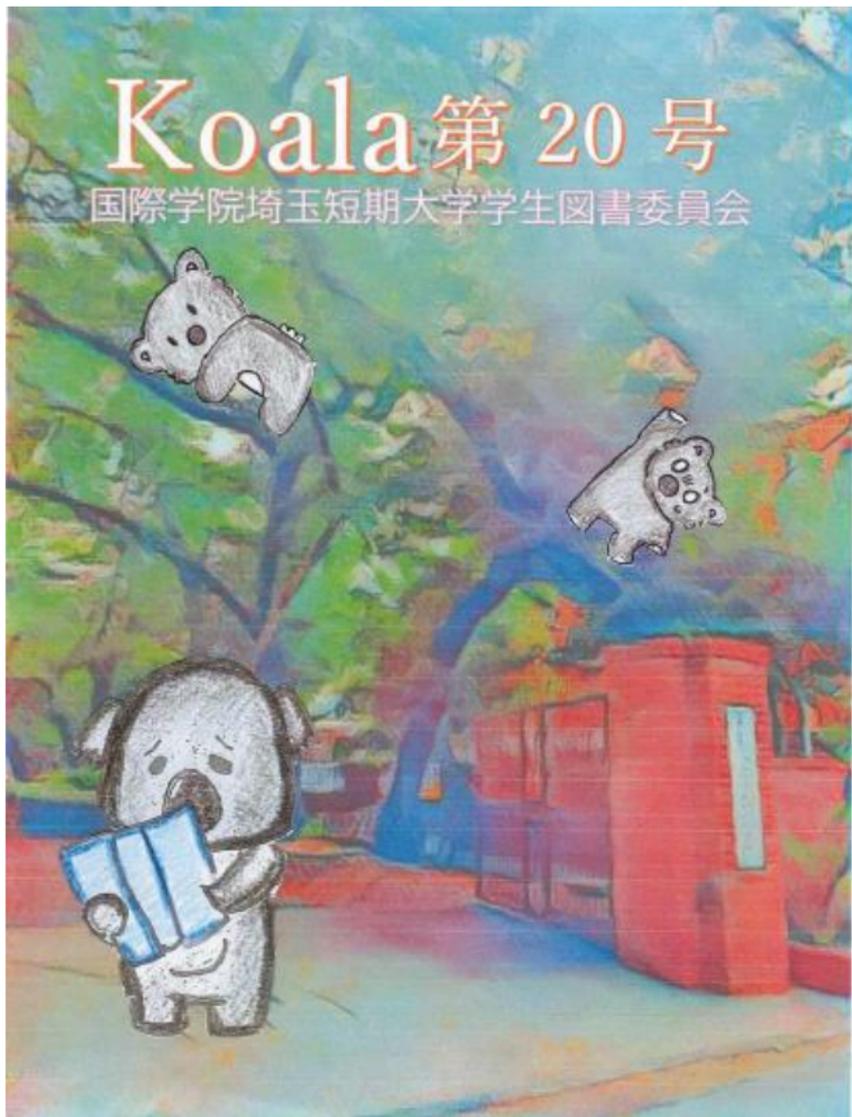


Koala 第 20 号

国際学院埼玉短期大学学生図書委員会



学生図書委員会機関紙 Koala 第 20 号

2024 年 12 月 2 日

編集・発行 国際学院埼玉短期大学学生図書委員会

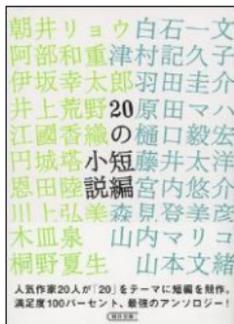
〒330-8548 さいたま市大宮区吉敷町 2-5

Tel : 048-641-7468 Fax : 048-641-7432

E-mail : tosyokan@kgef.ac.jp



★★ Koala 第20号 記念特集 ★★ ～『20』に因んだ本～



朝日新聞出版刊
『20の短編小説』
小説トリッパー編集部編
朝井リョウ他 著

皆さんにはずっと後悔している出来事がありますか？

反抗期に母親へ強い言葉を浴びせてしまった。もしも、ここで母親に優しい言葉をかけていれば未来は変わっていたかもしれない。しかし、母親も「もしも余計なひとことを発していなければ娘(息子)は、私と今もっと会話をしてくれていたかもしれない」と後悔しているかもしれませんね。(if/伊坂幸太郎)



幻冬舎刊
『20歳のソウル』
中井由梨子 著

主人公の大義が癌との闘病とともに生涯を終えるまでどのような人生を歩んだのかを記した感動の実話です。彼の20年の歴史を読み、「自分が亡くなった時、彼のように素敵な何かを遺せるのだろうか」という気持ちと同時に自分の祖父が遺してくれた「幸せを他人に運べる人間になりなさい。」という言葉が浮かびました。

<今号で記念すべき第20号を迎えたKoala

「20」にまつわる本が

みなさまの心の片隅に残りますように…!>



新評論刊

『20年前の未来』

小笠原宣 文・絵

真宗の僧侶であり画家でもある小笠原 宣が描いた絵本。

小学校の男の子の目線で、学校や遊び場、駄菓子屋での出来事、家族で過ごした思い出などを日記のように綴ってゆきます。そこには新しい出会いや友達との別れ、おじいちゃんの語る昔の風景などがノスタルジックかつ瑞々しく描かれていて、小学生にも大人にも読んでみて欲しい一冊です。



サンマーク出版刊

『アドラー博士の子どもが素直に伸びる20のしつけ法』

星一郎・順子 著

[心理学の3大巨頭の一人・アドラー]の教えに基づいて書かれた教育書。子ども自身の“いいところ”を伸ばせる子育て法。「子どもの性格は環境によって決められる」「遺伝するのは、親の素質や気質である」つまり子どもの気質や育てている環境を親と子がどう捉え、それに対処していくかにある。

目からうろこの情報満載!



図書館のすすめ



私たちが他大学の図書館を
利用できるよ！

利用者：本学の学生／卒業生／

埼玉県大学・短期大学図書館協議会加盟館の学生／他

開館日：平日 9:00～18:00 土曜 9:00～12:00



<本校の学びの全容が分かる！>

2階には実際に学生が使用している教科書が置いてあり、本学の学びの真髄が集結しています。1階の雑誌コーナーでは新しい情報も入手することができ、課題の参考資料としてもおすすめです。また、食育やお弁当、海外料理の本などもあり、学科を越えて楽しめることと思います。

<季節や行事の本がすぐ見つかる！>

図書館入口の「おすすめ図書コーナー」には、季節や行事（実習や海外研修、就職活動など）にあわせた本を置いています。お目当ての本だけでなく、偶然の良い出会いがあるのも図書館の魅力のひとつです。

<夏休みや春休みは貸出期間が長い！>

公立図書館は通常2週間ほどですが、本図書館は長期休暇にあわせて貸出期間が長くなります。また、貸出冊数も多くなるため、実習の準備や自主学習にぴったりです。

<本校舎2階のサテライト図書館！>

主に教職員のおすすめ図書が置いてあり、貸出・返却の手続き不要で、自由に手に取ることができます。あの先生はこういう本が好きなんだ！？など意外な発見があるかもしれません^^

★★教職員に読書アンケート★★

古木竜太先生（幼児保育学科）



<学生におすすめの一冊>

文響社刊 『夢をかなえるゾウ』 水野敬也 著
声を出して笑ってしまうほど、とにかく面白い!夢をかなえるための教えが分かりやすい。

<1番好きな本>

小学館刊 『100回泣くこと』 中村航 著
映画を観て感動し泣いたことはありますが、本を読み進めるうちに涙したのは今までの人生でこの一冊だけ。とにかく切ないです。

* * * * *

マット先生
(Mr. Matthew Ross)
(教育研究所、担当科目英語)



<忘れられない一文>

“A reader lives a thousand lives before he dies.
The man who never reads lives only one.”

Spectra Books

『A Dance with Dragons』 George R.R. Martin

(早川書房刊 『竜との舞踏』 ジョージ.R.R. マーティン 著)

<好きな作家> I respect Stephen King a great deal.

田中辰也先生(健康栄養学科)



<一番好きな本>

文春文庫刊

『坂の上の雲』

司馬遼太郎 著



<忘れられない一文>

「日本軍の幸運は秋山好古の頭脳が大局を見渡せる能力を持っていることである」(『坂の上の雲』より)

日本人の精神や能力を主題として書かれている物語で、物語の前後を読み進めると10万人対8千人の会戦に勝利した彼の大局観とその精神や能力に驚かされた。

<学生におすすめの1冊>

講談社文庫 『聖の青春』 大崎善生 著

生きている事は当たり前ではないと考えさせる1冊。

* * * * *

原実希さん(学務課教務担当)



<学生におすすめの一冊>

幻冬舎刊『イマジン?』

有川ひろ 著



どんな仕事も色々な面があり、想像と創造を大切にしたい、そんな事を考えました。

<好きな作家>

有川ひろ・辻村深月・原田ハマ・
原田ひ香・上田健次・大山淳子・
長月天音など…

気に入った本に出会えたら、同じ作家の別の本も読むようにしています。



【図書委員のおすすめ図書】



平凡な男子高校生のヨウスケが謎の女の子ハルカと出会い、関わっていく中で生きていくことの大切さを学んでいく小説です。

生きづらいと感じる人や、生き甲斐を感じられないと思う人に是非読んでもらいたい本です。

Discover 刊

『君と会えたから……』

喜多川泰 著



「SDGs 達成のために何ができるだろう…」と考えていた時にこの本と出会い、今の自分に何ができるのかを見つめ直すことができました。

お笑い芸人のたかまつななさんが、SDGsについて笑いを交えながらわかりやすく説明しています。

くもん出版刊

『お笑い芸人と学ぶ13歳からのSDGs』

たかまつなな 著

教えて～！司書谷地さん！！

本学の頼れる司書谷地さんの貴重なインタビュー！

Q. 谷地さんにとって本とは？

A. いつも新しい発見があるもの。悩み事の答えや、わくわくする何かを、本の中に探しているのだと思います。

Q. 司書を目指したきっかけは？

A. 故郷の役場で図書館に配属されたことをきっかけに、自費で司書資格を取得し、紆余曲折を経て今に至ります。

Q. 本学図書館の司書になられた経緯は？

A. 司書は非正規雇用が多いのですが、本学は正規雇用のへの道がありました。図書館を大事にしている大学は良い教育をしているに違いない！と思い、志望しました。教員を目指して学んだことも活かせると思いました。

Q. 大学図書館でのお仕事内容は？

A. 貸出・返却、雑誌や図書等の受入（選書・発注・登録・装備・配架）、督促・予約連絡、学外利用者の対応、レファレンスサービス、他大学や公共図書館の相互利用、図書委員会（教職員）の庶務、学生図書委員の支援など。

編集後記



Koala は、学生が主体となり紙面のサイズや構成、インタビューの内容など、全てを決めて発行している珍しい学生図書委員会の機関紙です。最初は難しいと感じましたが、その反面で、完成した時の達成感はひとしおです。この記念すべき第20号も多くの方のご助力、ご協力があり発行することができました。ありがとうございました。